

のり養殖業の動向について

令和に入って、のり養殖業は栄養塩不足や高水温等の影響によって不作が続いており、令和2年度はぎよさいと積立ぶらす合計（以下同じ）で121億円、令和4年度は124億円と多額の支払となりましたが、昨年度漁期は地域差はあるものの、生産数量の増加及び単価高等により生産金額が増加したことで22億円の支払にとどまりました。

昨年度漁期ののりの好調な生産を受け、令和7年度の特定のり養殖共済の引受実績は、自然増等により共済金額836億円（前年比110%、76億円増）、漁業者積立額27億円（同110%、2億円増）となり、いずれも過去最高の実績を確保することができました。

令和7年度ののり養殖の状況は、秋芽網について一部の地域で色落ちも見られましたが、全体としては生産数量や生産金額が増加し、好調な滑り出しとなっています。冷凍網に移行しましたが、引き続き海況の急激な変化に注視しながら、漁期終盤まで順調に生産が続くことを願うばかりです。

今年度も残すところあと2か月弱となります、「ぎよさい」と「積立ぶらす」の更なる定着に向け、共済団体一丸となって普及・推進に邁進してまいりますので、皆様の変わらぬご支援とご協力をよろしくお願ひ申しあげます。

令和7年度の加入実績（1月末累計）（単位：百万円）

区分	共済金額			漁業者積立額		
	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
漁獲共済	261,691	253,195	103%	18,124	18,888	96%
養殖共済	215,948	227,677	95%	7,308	8,955	82%
特定養殖共済	129,345	118,127	109%	4,400	4,070	108%
漁業施設共済	20,212	19,802	102%			
地域共済	14,282	11,834	121%			
合計	641,478	630,636	102%	29,833	31,913	93%